



④ 市 債 は 4 1 億円の増額 (平成 29 年度 247 億円 ⇒ 平成 30 年度 288 億円)

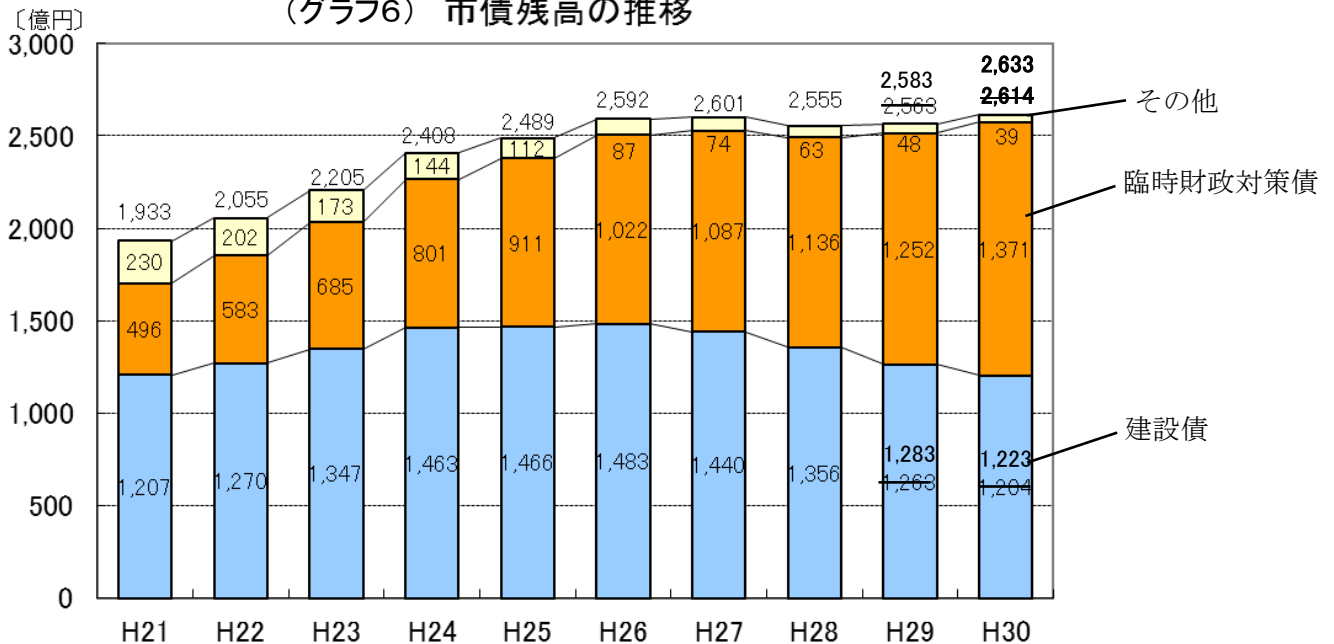
対前年度比 : + 16.8% ↑

市債は、約 288 億円で、平成 29 年度に比べ約 41 億円の増額となっています。

このうち、建設に係る市債は、市が公共施設や道路等を建設する際などに、その財源の一部とするため借入れを行うもので、平成 30 年度は小中学校の校舎等の整備事業を実施することなどにより増額となっています。

また、臨時財政対策債については、市債全体の中で 67.7% と市債発行額の約 3 分の 2 を占めています。

(グラフ6) 市債残高の推移



※各年度末現在の残高(29年、30年度は残高見込)

市債残高は、平成 30 年度末では約 ~~2,614~~ ^{2,633} 億円に増加する見込みですが、内訳では、臨時財政対策債が 1,371 億円となり、市債残高全体の約 52% を占める見込みとなっています。また、建設債は平成 30 年度についても減少する見込みです。

なお、臨時財政対策債の償還金については、その全額が国の地方交付税措置の対象となっており、制度的に償還財源は保障されています。

6 相模原家の家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家の年収を500万円と仮定して当てはめてみたものが下表です。
※30年度当初予算額から算出

収入		給与	支出	
	(構成比)			(構成比)
基本給 (市税)	217万円	}	食費 (人件費)	123万円 (24.7%)
諸手当 (地方交付税・ 国県支出金など)	181万円 (36.2%)		医療費 (扶助費)	146万円 (29.2%)
貯金の取崩し (基金繰入金)	9万円 (1.9%)		ローンの返済 (公債費)	45万円 (8.9%)
家賃収入 (使用料・手数料など)	44万円 (8.8%)		その他生活費 (物件費など)	117万円 (23.4%)
生活資金のローン (臨時財政対策債)	33万円 (6.6%)		家の増改築費 (普通建設事業費)	30万円 (6.0%)
家の増改築のローン (建設債等)	16万円 (3.2%)		子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	39万円 (7.8%)
合計	500万円		合計	500万円

収入では、給与（基本給や諸手当）だけでは依然として生活に十分な額には満たないため、ローンにより生活資金や家の増改築費用を賄っています。

支出では、医療費や食費の割合が高く、日々やりくりをしています。

このほか、相模原家のローン残高は~~445~~⁴⁴⁹万円、貯金が20万円となっています。

ローン残高	449万円	(対収入比) 89.8 (89.0)
貯金	20万円	(4.0%)